

# 高次脳機能障害 平成29年度運営方針

厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部

# 高次脳機能障害施策におけるこれまでの取組み

# 高次脳機能障害支援に関する事業の経緯

平成13年度～

## 高次脳機能障害支援 モデル事業

- 国立障害者リハビリテーションセンターと全国12地域\*において、高次脳機能障害の原因、症状、訓練状況、地域生活における支援等の状況を調査した。
- 支援のための枠組作り、診断基準、訓練プログラム、社会復帰・生活・介護支援プログラムを作成した。
- これらを活用し、機能回復訓練、社会復帰・生活・介護支援について、サービスを試行的に提供した。
- 全国に普及可能な支援体制・手法を提示した。

\*北海道・札幌市、宮城県、千葉県、埼玉県、神奈川県、岐阜県、三重県、大阪府、岡山県、広島県、福岡県・福岡市・北九州市、名古屋市

平成18年度～

## 高次脳機能障害支援 普及事業

- 障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業として、都道府県が行う専門的な相談支援事業として、「高次脳機能障害支援普及事業」を開始した。

平成22年全都道府県  
に支援拠点機関設置

平成25年度～

## 高次脳機能障害及びその 関連障害に対する支援普及事業

- 平成25年度より「高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業」と名称を変更

支援拠点機関  
全都道府県に103カ所設置（平  
成28年4月時点）

# 平成29年度の運営方針

# 高次脳機能障害及びその関連障害に対する 支援普及事業（平成29年度予算）

## ○国立障害者リハビリテーションセンター実施分 10百万円（10百万円）

都道府県職員や地方支援拠点機関の支援コーディネーターを対象とした全国会議の開催、研修事業を含む普及啓発活動等を引き続き実施するとともに、平成23年10月より、同センター内に「高次脳機能障害情報・支援センター」を設置し、高次脳機能障害者に関する様々な情報や最新の高次脳機能障害者支援情報を集約し、高次脳機能障害者やその家族及び支援関係者等に役立つ情報をホームページで発信する体制を整備する等、情報提供機能の強化を図る。

## ○都道府県実施分 地域生活支援事業費488億円（464億円）の内数

- ア. 支援拠点機関（リハビリテーションセンター、大学病院、県立病院等）に相談支援コーディネーター（社会福祉士、保健師、作業療法士等、高次脳機能障害者に対する専門的相談支援を行うのに適切な者）を配置し、専門的な相談支援、関係機関との連携、調整を行う。
- イ. 自治体職員、福祉事業者等を対象に高次脳機能障害支援に関する研修を行い、また、地域における高次脳機能障害支援の普及を図る。

# ～支援拠点機関について～

## 支援拠点機関の機能

相談支援コーディネーターを配置し、専門的な相談支援、関係機関との連携、調整を行う。  
また、講演・シンポジウムの開催及びポスター、リーフレットの作成・配布をする等の普及啓発活動  
の他、自治体職員、福祉事業者等を対象に高次脳機能障害支援に関する研修を行い、地域での高次脳機能障害支援体制の整備に取り組む。

## 取組状況

### 【支援拠点機関数】

全国で101カ所（平成29年4月1日時点）

### 【取組内容】

- 相談支援コーディネーターを配置：全国で355名  
内、社会福祉士81名、保健師156名、作業療法士33名、言語聴覚士14名、  
精神保健福祉士49名、心理技術者22名、相談支援専門員34名、介護支援専門員19名、  
ケースワーカー9名、社会福祉主事11名、医師11名等
- 相談支援件数：全国で100,438件
- 研修会・講習会：全国で363回、参加者数21,972名
- ケース会議：全国で4,185回、参加者数25,782名
- 支援拠点等全国連絡協議会への協力

## ～高次脳機能障害情報・支援センターについて～

### センターの機能

高次脳機能障害情報・支援センターは、高次脳機能障害に関し、各都道府県拠点機関との連携、各種支援プログラムの検証と改正、取組を促す研修事業、普及啓発活動に加え、様々な情報を収集・整理・発信し、また諸機関に対する相談を実施するなど、中央拠点として総合的な支援を行う機能を担う。

### 取組

- ・全国連絡協議会等を開催し各都道府県拠点と連携
- ・各都道府県等で実践されている各種支援プログラムの成果を検証し、必要に応じてよりよいものに改正
- ・拠点機関職員等に対し、支援技術習得等に関する研修を実施・シンポジウム等による普及啓発
- ・国立障害者リハビリテーションセンターが高次脳機能障害に関する情報を集約し、支援体制の情報を収集し、ホームページで発信
- ・一般国民がわかりやすい障害の解説等をホームページで発信
- ・医療従事者に対する高次脳機能障害への専門的な解説等をホームページで発信
- ・支援拠点機関からの各種の相談の実施・情報の還元

国立障害者リハビリテーションセンターに設置

**高次脳機能障害に対する総合的な支援を行い、  
高次脳機能障害支援拠点機関を含めた医療・福祉サービス等の向上を目指す**

# 高次脳機能障害施策

**国立障害者リハビリテーションセンター**

**高次脳機能障害情報・支援センター**

- ・各種支援プログラムの検証と改正
- ・研修事業、普及啓発活動
- ・情報収集・発信機能のセンター機能
- ・支援拠点機関への情報還元

情報提供

都道府県

委託

指導助言・情報還元

相談・事例収集

**支援拠点機関**

支援センターからの情報や相談に対する助言をもとに

- ①一般国民・医療従事者に対する高次脳機能障害の普及・啓発の充実
- ②当事者・家族への相談支援の充実
- ③研修体制の充実

等を図る

支援体制整備

- ・関係機関、自治体職員に対する研修
- ・関係機関への指導、助言

相談支援

- ・専門的なアセスメント、ケアプランの作成
- ・ケアプランに基づくサービスの提供

相談支援コーディネーター等による関係機関との連携

家高  
族次  
脳  
機  
能  
障  
害  
者  
・

専門的  
相談

サービス  
利用

就労支援機関

福祉サービス事業者

医療機関

患者団体

市町村